

神秘な国インドからの贈り物
高質位コットン マハバーラ。



ドーコーボウ (06)6271-6151

2021年

7月 21日 (水)

購読のお申し込み 06-6201-5012(代)
hanbai@sen-i-news.co.jp

発行所 ダイセン株式会社

大阪本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9 輸出織維会館8階

TEL(06)6201-5012 Fax(06)6226-0106

E-mail webmaster@sen-i-news.co.jp

東京本社 〒101-0036 東京都千代田区神田乗物町11 乗物町中央ビル4階

TEL(03)5289-7003 Fax(03)5289-7233

中部・北陸支社 TEL(052)451-3850/中国・四国支社 TEL(086)224-0250

上海支局 / 黛森商務諮詢(上海)有限公司 TEL86-21-5670-1910

三備産地のモノ作り企業は、新型コロナウイルスの感染拡大で受注が大きく落ち込んだが、今年に入り復調の兆しが見えてきた。その間立ち上げた新規事業が少しずつ芽を出し始めた。コロナ後を見据え、消費者に「顔が見える」商品開発で新たな市場へ切り込む。(於保佐輔・秋山真一郎・小野亨)

三備産地

三備地区の織維関連企業の多くは4月以降、受注で回復の兆しが見えつかる。ただ、一部の企業から「この先もコロナ前と同様の受注量には戻らない」という悲観的な声も聞かれている。そのよう

うな見通しの中でも、今後成長していく上で一つの鍵になるのが新規事業であり、製品を販売する動きだ。

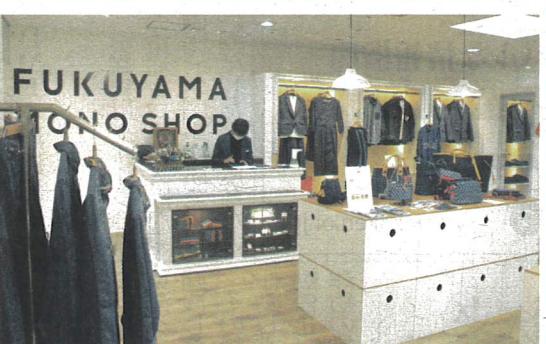
中でもクラウドファンディング(CF)は直接消費者の声を捉える有効な手段として活用が増えてきている。今年初めてジーンズの製品化でCFに臨んだのはデニム製造国内最大手のカイハラ(広島県福山市)。綿100%のデニムのような質感を持ちながらも70%超の伸長率を持つ「モンスター

消費者へ顕見える商品開発へ

ストレッチ」は反響が大きくなり、予想を超える1448万円の支援を得た。CFを「主要販売先であるアパレルメーカーなど同じ目線での生産・開発を強化する手段(稻垣博章執行役員)と捉え、元の受注量には戻らぬ一方、会員制交流サイ

(福山市)は昨年、地元企業のブランド品を集めたセレクトショップ「フクヤマモノショップ」を開設。天満屋福山店内に開設。地元铸造メーカーの商品など、織維関連以外の商品も幅広くそろえる。地元の人々が贈り物として購入することができる。顧客の懶怠感が広がる中、作り手の顔が見えるモノ作りはいてもらい、「怒り」「懲り」で揺れ動く。その後、SDGs(持続可能な開発目標)へ対応が広がる中、作り手の顔が見えるモノ作りが一段と求められる可能性がある。消費者が一段と求められるとの接点を

とした。「(高橋利明専務)。今後、作りつつ、そのようなニーズを捉えようとする動きも模索し始める。消費者が一段と求められるに至ったときに、正解は提示されない。重たい問題提起にならぬ葛藤。一度、子供たちと話し合ってみよう。



地元企業のブランド品を集めた「フクヤマモノショップ」

新規事業の芽、少しずつ

ト(SNS)入するケースや、法人や団体向けとして、福山の女性をターゲットに自社も運動させながら発信を行い「新しいファン(戸板一平取締役)。4年前から30~40代の履物製造の丸五(倉敷市)は今年、ウエルネス推進部を設置した。ブランド「パンソソムリエ」を展開する婦人パンツ製造の大盛センイ(広島府中市)は5、6月に東京都渋谷区でゴムワエストパンツの期間限定店を開いた。「パンツ加工のセイショク(岡山県倉敷市)は、昨年から染色加工のセイショク(岡山県倉敷市)は、年に本社敷地内にファク

10mm²
II
約15,000個

ガラスピースの数量

UE LITE REROREFLECTIVE MATERIAL
なるほど反射材 vol.1
<http://www.ue-lite.com>

トリーショップをオーブンする予定で、消費者

に直接顔が見える商品開発をしていく(波止英執行役員)。

「直接顔が見える商品の中では葛藤がある。相手に信用されない限りこの仕事はできない。しかし、ジャーナリストの端くれとして、この話は果たして本当なのか、と疑つてかかることもまた必要。

▼取材

といふ日常の行為の中では葛藤がある。相手に信用されない限りこの仕事はできない。しかし、ジャーナリストの端くれとして、この話は果たして本当なのか、と疑つてかかることもまた必要。

▼取材

といふ日常の行為の中では葛藤がある。相手に信用されない限りこの仕事はできない。しかし、ジャーナリストの端くれとして、この話は果たして本当なのか、と疑つてかかることもまた必要。

▼取材

といふ日常の行為の中では葛藤がある。相手に信用されない限りこの仕事はできない。しかし、ジャーナリストの端くれとして、この話は果たして本当なのか、と疑つてかかることもまた必要。

▼取材

といふ日常の行為の中では葛藤がある。相手に信用されない限りこの仕事はできない。しかし、ジャーナリストの端くれとして、この話は果たして本当なのか、と疑つてかかることもまた必要。

▼取材

といふ日常の行為の中では葛藤がある。相手に信用されない限りこの仕事はできない。しかし、ジャーナリストの端くれとして、この話は果たして本当なのか、と疑つてかかることもまた必要。